

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都市長	平成 26年 7月 25日
報告者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 京都市右京区梅津西浦町14番地	報告者の氏名（法人にあつては、名称及び代表者名） サンコール株式会社 代表取締役社長 山主 千尋

京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004
適用範囲	サンコール（株）本社工場、豊田工場、広瀬工場、国内営業所 サンコールエンジニアリング（株） サンコール菊池（株）
導入年月日	1999年 8月 26日
認証番号	E085
基本方針	地球社会の一員として、公德優先、人間尊重をベースに技術集約型精密製品の創造をビジネステーマとした事業活動の中で、自然環境の保全に万全を期すとともに、貴重な資源を大切に、地球環境に貢献します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	エネルギー原単位=1%低減（当年度計画比） 廃棄物社会循環比率=1%向上（前年度比）
目標を達成するための取組の内容	【省エネルギー】 低温度加熱条件のバテンティング処理技術の確立、熱処理用巻取機のインバータ制御、トッランナー変圧器への更新、高効率コンプレッサーへの更新、省エネベルトの採用、高効率エアコンへの更新 【廃棄物3R】 汚泥、廃油、廃酸、廃プラスチック類、木くず等の排出量抑制及び、リサイクル処分への転換
目標を達成するための取組の進捗状況	【省エネルギー】 油圧連伸機のインバータ制御(H25年12月)、 トッランナー変圧器への更新(H25年8月)、 LED照明への更新(H25年5月、12月) 【廃棄物3R】 汚泥、廃酸、廃油、廃プラ、金属くず等のリサイクル処分、 廃油・廃プラスチック類の社内分別促進と有価売却等
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画通りに取り組むことができています。
事業活動に係る法令の遵守の状況	当社様式『法順守年度計画書兼順守評価表』に、法定届出、環境測定等の実施計画を盛り込み、これに沿って遅延無く対応している。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	第三者によるISO14001認証審査、内部環境監査及び、環境マネジメントレビューにおいて、システムの妥当性と有効性を評価している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。